

# ニュースクリップ & 映像教材

## ■第16回上月情報教育研究助成募集

■「Japan Education Week～選ばれる学校づくり～」

■「第10回教育ICT試験（教育用ICT活用能力認定試験〈1・2・3級〉）」

■「第19回丹波篠山ビデオ大賞」参加作品募集

■第14回大阪ヨーロッパ映画祭「キンダーフィルム特集」

■「地方の時代」映像祭2007

## AV情報

### ■第16回上月情報教育研究助成募集

（財）上月スポーツ・教育財団では、情報教育の振興と発展をめざし、学校教育における情報教育に関する研究、教材の開発、教育実践を助成する。募集の詳細は下記の通り。

〈対象〉

実践的な研究で、情報教育との関係や、目的、計画が明確で、2年間の助成期間に成果が期待できるもの。

〈募集期間〉

平成19年11月1日（木）～11月30日（金）（必着）

〈提出書類〉

申請書・推薦書（無でも可）

〈助成金〉

大グループの場合 70～150万円

小グループの場合 30～70万円

奨励助成 10万円

〈審査方法〉

書類審査

〈結果発表〉

2008年3月 ※ただし、成果報告など研究期間終了後、研究論文、ならびに決算報告書を提出のこと。

〈問い合わせ〉

（財）上月スポーツ・教育財団

TEL 03-5414-2811

### ■「Japan Education Week～選ばれる学校づくり～」

標記総称の元「教育ソリューションフェア2007」（他「第6回学校・教育施設展2007」「スクール&キッズセキュリティ2007」）が、（社）日本能率協会、日本教育新聞社の共催により開催される。

〈日時〉

平成19年11月14日（水）～16日（金）

〈会場〉

東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-21-1）

〈内容〉

e-learning教材、各教科副教材、環境教材、視聴覚教材（プロジェクターなど）、プリンター、コンピュータ機器、音響機器、授業支援システム他

〈問い合わせ〉

Japan Education Week事務局（社）日本能率協会産業振興本部内

TEL 03-3434-1988

### ■「第10回教育ICT試験（教育用ICT活用能力認定試験〈1・2・3級〉）」

（財）科学技術教育協会では、児童生徒の情報活用能力向上および基礎学力を高めるために教員のICT活用能力向上を目的に、標記検定試験を行う。

〈日時〉

平成19年11月25日（日）※願書の受付は11月16日（金）まで。

〈会場〉

札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、深谷

## ブックレビュー



先生の事例でわかる  
パソコン—これだけでできれば一人前

石原一彦著  
(株)三省堂 2007年9月刊  
B5判 184頁 2,310円(税込)

「教職員が誰でもコンピュータを利用できるようにする」と述べた「ミレニアムプロジェクト」から早くも10年近い歳月が流れた。今では、学校の職場環境としてコンピュータなしでは語れないようになってきている。活用の面でも、ほとんどの先生方が学級通信や会計報告、研修会でのプレゼンテーション等さまざまな場面で利用する(できる)ようになってきている。

しかし、いつもと違うソフトウェアや同じものでも違った操作となると、心許なくなる先生方が非常に多い。そんな時、職場にコンピュータに堪能な先生がいればよいのだが……。それを補ってくれるのが本書である。

本書の特徴は、冒頭にあるように「学校現場で実際に求められる仕事」を、活用場面ごとに

まとめて記述していることである。例えば、第3章「Wordでお知らせ」では、「保護者向けに『水泳教室』のお知らせを作らないといけないけど、どうやって作ろうか?」という疑問に対してWordの操作や見栄えのするお知らせの作り方などを親切丁寧に解説している。

また、筆者の石原一彦氏は、学校にコンピュータ導入の先駆者として、多くの功績を残した方であり、小学校の先生として、ご自身でも多くの場面でコンピュータを利用してきた。そんな教育のプロが執筆した本書は、初心者が陥りやすい間違いや失敗にも対応できるため、痒いところにも手が届く内容となっている。「聞ける先生」が近くにいる先生方には、必携の一冊である。(中村 司)

〈対象者〉

学校等に勤務し、教職に携わる方。教職課程を履修している大学生など。

〈内容・試験時間・方法〉

○3級

インターネットなどの基本的な操作等ができる。

80分・多肢選択式40問

○2級

ICT活用指導力を有し、教員への適切な助言などができる。

120分・多肢選択式40問

○1級

ソフトの活用能力を有し、学校教育の中で問題解決にその知識や技術が応用できる。

各80分・多肢選択式10問/記述式5問

〈合格基準〉

原則として、70%以上の正答率をもって合格とする。

〈受験料〉

教員・一般(大学生) 3級5,000

(4,000)円、2級6,000(5,000)円、1級7,000(5,000)円

〈申し込み方法〉

Web上 (<http://www.fest.or.jp/EXAM/exam.html>) の申し込みフォームから、もしくは下記に「願書」を請求の上、必要事項を記入し郵送・FAXにて。

(財)科学技術教育協会

〒160-0012 東京都新宿区南元町23番地 公立共済四谷ビル

TEL 03-5367-9511

FAX 03-3357-2727

## コンクール情報

### ■「第19回丹波篠山ビデオ大賞」参加作品募集

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会・篠山市・篠山市教育委員会主催の標記コンクールでは、「生きる～泣いて・笑って・輝いて～」をテーマに、下記のように作品募集を行っている。

〈部門別テーマ〉

○グランプリ部門(各8分以内)

①「いっしょに生きる」

②「明日に挑戦!」

③「私が見つけた丹波篠山」

○デビュー部門(3分以内)  
テーマの制限はなし。

〈応募条件〉

アマチュアであること/ DV・DVD・VHS・VHSで応募のこと/他のコンクールにて入選以上の賞を受けていない作品等

〈締め切り〉

平成19年11月30日(金) 必着  
〈応募・問い合わせ〉

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会事務局 〒669-2206兵庫県篠山市西吹88-1篠山市視聴覚ライブラリー内

TEL 079-590-1301

## 各地の情報

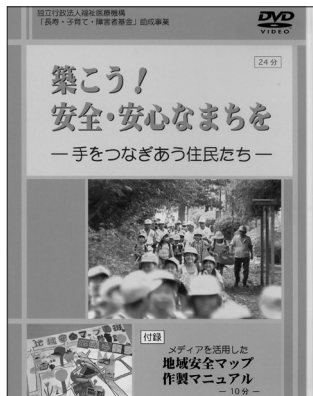
### ■第14回大阪ヨーロッパ映画祭「キンダーフィルム特集」

大阪ヨーロッパ映画祭実行委

## トピックス

「メディアを活用した地域安全マップ」啓発DVDソフトウェアを活用したワークショップの実践先募集

(財)日本視聴覚教育協会では、平成19年度の(独)福祉医療機構子育て支援基金助成事業「親子で創るメディア安全マップ事業」に係る啓発DVDソフトウェア



「築こう!安全・安心なまちを一手をつなぎあう住民たち」(24分)を作成、視聴覚ライブラリー等関係先へ配布するとともに、同ソフトを活用したメディア安全マップワークショップの実践先を募集する。

## (1) 事業概要

昨今、全国各地で子どもが被害者となる事件が後を絶たない。このプログラムでは、先進地域の活動の様子や子どもたちの防犯能力を向上させる取り組みを紹介する啓発DVDソフトウェアを活用して、実際に「メディアを活用した地域安全マップ」のワークショップを全国で開催する。

DVDの中で紹介されているように、各地域で実際に子どもたちが、自分の足で地域を調べ、メディアを活用して地域の安全マップを作成し発表することで、各人が地域の安全・危険箇所を知り、防犯意識を高める活動を実施する。

## (2) 募集内容

実施場所：全国7か所  
開催時間：1日(7時間程度)  
応募資格：学校、公民館、自治会、児童館、視聴覚センター・ライブラリー等  
参加対象：親子15組30名程度(親子での参加が原則)

カリキュラム：専門家による講義、フィールドワーク(5組の親子がグループになり、デジタルカメラやビデオを使って地域の取材を行う)、マップ作成、発表会

## (3) スケジュール

10月初旬募集開始/11月中旬実施先決定/12月中旬担当者説明会/1~2月ワークショップ実施/3月下旬報告書提出

## (4) 問い合わせ

(財)日本視聴覚教育協会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門一丁目森ビル  
電話03-3591-2186  
koubo@javea.or.jp

員会では、標記映画祭(平成19年11月3日~12月7日)期間中に、子どもの映像教育の推進を図ることを目的にキンダーフィルムの上映会を開催する。今年、ベルギーの教育機関「Camera Enfants Admis (CEA)」が主催するワークショップで、現地の子どもたち自身が制作した短編アニメーション5本を上映する。

## 〈日時〉

平成19年11月18日(日)15:00

## 〈会場〉

関西国際空港展望ホール2F(大阪府泉佐野市泉州空港北1)

## 〈上映作品〉

さかさマックス/トムの世界/メリのことば/考古学者/ユス水のこども※各約30分の短編。  
入場無料

## 〈問い合わせ〉

大阪ヨーロッパ映画祭実行委員会事務局

TEL 06-6882-6213

## ■「地方の時代」映像祭2007

地域のドキュメンタリーに焦点をあてた標記映像祭。本年度は、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟の三者で共同主催される。詳細は以下の通り。

## 〈日時〉

平成19年12月1日(土)~8日(土)

## 〈内容〉

贈賞式、シンポジウム、受賞作品・参加作品上映会、ワークショップなど。

## 〈場所〉

関西大学(大阪府吹田市山手町3-3-35)

## 〈参加費〉

無料

## 〈参加申し込み方法〉

直接会場へ。ただし、会場の収容人数を超える場合は先着順とし、会場内に入場できない場合もある。

## 〈問い合わせ〉

「地方の時代」映像祭実行委員会事務局

TEL 06-6363-3874

## 短 信

平成19年度全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、社会教育部門入選「元プロカメラマンの生き方—映像の世界から陶芸へ—」(ビデオ)は受賞者の申し出により辞退されることとなりました。